

伊南喜仁さんがみすぎ荘を慰問

「歌で皆さんを元気にしたい」

演歌歌手の伊南喜仁さんが7月7日、みすぎ荘を慰問され、津軽三味線の生演奏や民謡などを披露しました。ホールに集まった約60名の利用者さんが驚いていたのは、その圧巻の歌声。迫力あるプロの小節を楽しんでいました。また、昔懐かしい歌謡曲のメドレーを披露した際には、口ずさむ利用者さんにマイクを向ける場面も。プロの歌手と一緒に歌いながら、楽しいひとときを過ごしました。



▲客席に降りて利用者さんの手をとりながら歌う伊南さん

最上広域消防本部金山支署に所属

澤村さんが県指導会で優勝

救助活動に必要な体力、技量などを競う消防救助技術県指導会（6月28日）において、最上広域消防本部金山支署の澤村裕寛さんが、ほふく救出の部で見事優勝を飾りました。パディは同北支署の荒川敦さん。コンビネーションや確実性、迅速性などが高く評価されました。8月に京都で開催予定の全国消防救助技術大会に駒を進めたメンバーは「表彰状を持って帰りたい」と意気込んでいました。



▲(写真右から) 荒川敦さんと澤村裕寛さん

▼贈られた賀詞を持ち、笑顔で写真に応える齊藤ヒデさん



祝！齊藤ヒデさんが100歳

町から賀詞・お祝い金を贈呈

齊藤ヒデさん（十日町）が、6月30日に100歳を迎えられ、鈴木町長からご本人へ賀詞やお祝い金が贈呈されました。ヒデさんは、大正7年生まれの100歳。「家族と一緒に元気に100歳の誕生日を迎えることができ、とても嬉しい」と目を細めていました。これからも健康に留意されて長生きしてくださることを願っています。おめでとうございます。

▼(写真右から) 地主真奈斗さんと丹駿介さん



金山中野球部から2選手が選抜

最上地区チームが全国大会へ

7月7日～8日、荘内銀行・日新製薬スタジアム山形（中山町）で第18回U-15KWB野球選手権大会山形県大会が開催され、地主真奈斗さん（金山中3年・七日町）と丹駿介さん（同・楢台）が所属する最上ベースボールクラブが準優勝を果たし、見事全国大会への切符を手に入れました。金山中野球部を代表して出場する2選手。さらなる活躍を期待しています。



1_金山初出店のほりこま屋 2_暑い日はやっぱり3色アイス！
3_先着でオリジナル手ぬぐいのプレゼント 4_対面販売がマルシェの醍醐味 5_大学生と一緒に街なかウォークラリーも開催

樋渡一葉・双葉ペア

県小学生ソフトテニス選手権で優勝

鶴岡市で開催された山形県小学生ソフトテニス選手権大会女子の部において、金山小6年の樋渡一葉さん・双葉さんペア（三枝・真室川Jr所属）が優勝を収めました。県チャンピオンとして臨んだ第8回東日本小学生選抜ソフトテニス大会が7月14日～15日、宮城県仙台市で開催。双子ならではの息のあったプレーで、大健闘を見せました。今後ますますの活躍を期待します。



▲山形県女子チーム（上段右端から双葉さん、一葉さん）

まちのわだい



身近なわだい、お寄せください。
総務課 広報情報係 ☎52-2111(内線225)

かねやま「街市」が初開催

ミニマルシェなどで夏の金山を楽しむ

かねやま「街市」が7月21日、マルコの蔵前広場など町中心部を会場に開催され、町内外からの来場客で賑わいました。青空市&ミニマルシェでは、10を越すブースが出店。採れたての夏野菜や地物を使った加工品などが販売されました。また、このたび町観光協会では町オリジナル手ぬぐいを作製、1,000円で絶賛販売中です。役場産業課・もがみ北部商工会金山支部でお求めください！

▼アンコールを含め披露された7曲はどれも拍手喝采



町立金山診療所でホスピタルライブ

魂のこもった歌声に酔いしれる

全国の病院や福祉施設でライブを行うシンガーソングライター松尾貴臣さんのホスピタルライブが7月11日、町立金山診療所で行われました。入院患者の皆さんを含めた約80名が松尾さんの爽やかな歌声に酔いしれました。この日は、みすぎ荘や神室ふくすけの家でもライブを開催。普段あまりライブを見ることのない利用者の皆さんに魂のこもった歌声を届けました。